

No.	530-020	事務事業名	治山事業				所属部	農林水産部
							所属課	林務水産課
政策体系	政策名	0 1	快適で魅力あるまちづくり				課長名	山下 晃
	施策名	0 4	防災対策の推進				所属G(係)	林務グループ
	基本事業名	0 2	災害危険箇所整備				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠 森林法、地方自治法	
	一般	0 6	0 2	0 4	93010	県単治山事業		
	一般	0 6	0 2	0 4	93030	県営県単治山事業(負担金)		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
治山事業の実施(構造物・掘削・植栽等)により山林等の保護を図り、公共施設及び人家等を守る。 県単補助治山事業(事業主体・市) 1箇所の事業費が80万円以上800万円以下であって、次に該当するもの。(人家等2戸以上の保護・その他) 県補助70%、住民分担10% 県営県単治山事業(事業主体・県) 1箇所の事業費が80万円以上800万円以下であって、次に該当するもの。(公共施設の保護・重要なため池又は用排水施設の保護・農地2ha・その他) 市10%負担、住民分担なし						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 37 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 県単補助治山事業(2地区)		ア	施工箇所数
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 県営県単治山事業(2地区) 県単補助治山事業(2地区)		イ	
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 県営県単治山事業(2地区) 県単補助治山事業(2地区)		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 公共施設(道路・水路・河川・建物) 農地・ため池・人家・山林		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	
		ア	保全対象数
		イ	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 森林崩壊地の早期復旧により、公益的機能の回復を図る。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	復旧箇所数
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 安全性が確保される。		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	危険箇所に対する整備済み箇所の割合=工事進捗率
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円	21,819	2,835	9,800	11,200		
		地方債	千円						
		その他	千円	3,117	405	1,400	1,600		
		一般財源	千円	6,720	3,358	4,510	8,139		
		事業費計(A)	千円	31,656	6,598	15,710	20,939		
活動指標		ア	箇所	4	3	2	4		
対象指標		ア	件	11	10	6	12		
成果指標		ア	件	4	3	2	4		
上位成果指標		ア	%	51	52	52	53		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 県が国の補助に適用しない荒廃地の復旧及び荒廃の恐れのある山地の予防工事を行うため、昭和37年7月1日に要綱を制定し、事業が開始された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 市民の治山事業への理解や関心が高まり、市民からの要望が増加傾向にある。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 森林所有者や市民から治山事業の推進要望がある。	

事務事業名	治山事業	所属部	農林水産部	所属課	林務水産課
-------	------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 森林崩壊地の早期復旧により、公益的機能の回復が図られ、安全性が確保される。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 公共施設の保護及び市民の安全を確保することは、市の義務(地方自治法)であり、妥当性がある。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 「対象」の「公共施設や人家等」は公的及び人命関連施設のため、妥当。「意図」の「森林崩壊地の早期復旧により、公益的機能の回復が図られる」は公共施設の利用促進や市民の安全確保であるため、妥当。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 事業目的以上の成果向上余地はない。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 荒地や危険箇所が増加や被害の拡大が考えられる。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↳ 県単急傾斜地崩壊対策事業等	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 標準工法による整備が原則であり、削減余地は無い。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 地元住民等が事業推進員として、サポートしていただくケースも稀にあるが、事務については職員で対応しているため、削減余地は無い。	
	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 県を含め、市全域を対象に検討を行い、緊急な箇所から行っているため、公平・公正である。事業採択の判断の明確化を県に要望する。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	適切な事業であって、現状維持とする。 事業採択について、早期採択を各地域実現する。																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案>	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>▲</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>▲</td> <td>▲</td> <td>▲</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			▲	低下	▲	▲	▲
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			▲																		
	低下	▲	▲	▲																		
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						

No.	530-050	事務事業名	海面環境保全事業				所属部	農林水産部
							所属課	林務水産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	山下 晃
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	水産G
	基本事業名	0 2	生産基盤の整備				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 6	0 3	0 2	96010	水産業振興事業		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
福山町漁協が海面に浮遊する軽石、流木等の除去処理事業に係る費用の一部を助成している。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 59 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
手段(主な活動)	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
20年度実績(20年度に行った主な活動) 福山港内・沖海岸清掃	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 海面環境保全事業</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア 海面環境保全事業	回	イ		ウ	
名称	単位								
ア 海面環境保全事業	回								
イ									
ウ									
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 福山港内・沖海岸清掃	⇒								
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 海面漁業者	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 清掃作業の参加者</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア 清掃作業の参加者	人	イ		ウ	
名称	単位								
ア 清掃作業の参加者	人								
イ									
ウ									
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 漁業被害の軽減	⇒								
結果(どんな結果に結び付けるのか) 効率的な生産を行なう基盤が整う	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 安全に安心して漁場を運行する漁船</td> <td>船</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア 安全に安心して漁場を運行する漁船	船	イ		ウ	
名称	単位								
ア 安全に安心して漁場を運行する漁船	船								
イ									
ウ									
	⇒								
	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 放流した稚魚の数</td> <td>万尾</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア 放流した稚魚の数	万尾	イ		ウ	
名称	単位								
ア 放流した稚魚の数	万尾								
イ									
ウ									

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業内訳	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	180	160	152	136		
	事業費計(A)	千円	180	160	152	136			
活動指標	ア	回	2	2	2	2			
	イ								
	ウ								
対象指標	ア	人	15	15	15	15			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	船	54	54	54	54			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	万尾	40.2	40.5	40.5	40.5			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 県の桜島軽石等除去事業で実施されていたが、打ち切り予算となった。しかしながら、漁業関係者の強い要望により単独補助とした。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 変化なし
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 台風時期等の浮遊物除去により被害解消及び海岸周辺がきれいになった。(漁業関係者、周辺住民)

事務事業名	海面環境保全事業	所属部	農林水産部	所属課	林務水産課
-------	----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↳ 錦江湾クリーンアップ作戦	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	他事業との連携を行うことで事業費の削減を行い、成果水準を維持する。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 錦江湾クリーンアップ作戦との連携事業として実施を行う。																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
他事業との連携が可能であるかが課題である。

No.	530-120	事務事業名	ふるさと森林管理促進事業				所属部	農林水産部
							所属課	林務水産課
政策体系	政策名	0 2	自然にやさしいまちづくり				課長名	山下 晃
	施策名	0 1	自然環境の保全				所属G(係)	林務G
	基本事業名	0 2	森林の保全				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠 森林・林業基本法	
	一般	0 6	0 2	0 5	94030	森林管理事業		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間	
山村の過疎化の進展及び森林所有者の世代交代等に伴い、不在村者の所有する管理不十分な森林を対象に森林の現況調査や所有者の実態調査を行い状況を把握し、地域森林の適正な整備管理を推進する。 (県補助事業。補助率は事業費の1/2)		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (      年度 ~ ) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ ( H 16 年度 ~ H 23 年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
森林所有者の実態調査 2,930名		ア	森林所有者の実態調査
森林の現況調査 4,100筆		イ	森林の現況調査
管理台帳の整備 11,250筆		ウ	管理台帳の整備
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
森林所有者の実態調査 1,370名、森林の現況調査 4,800筆		名称	
管理台帳の整備 4,800筆		単位	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		ア	森林所有者数
溝辺・横川地区の森林所有者		イ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		ウ	
計画的に除間伐するよう適正な整備・管理をさせる。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		名称	
森林が保全される。		単位	
		ア	施業実施面積 / 森林施業計画面積
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア	植林された森林面積
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円	700	838	800	850		
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	702	838	800	852		
事業費計(A)		千円	1,402	1,676	1,600	1,702			
活動指標		ア 名	17,527	2,330	2,930	1,370			
		イ 筆	5,583	1,482	4,100	4,800			
		ウ 筆	17,614	2,849	11,250	4,800			
対象指標		ア 人	22,974	22,974	22,974	22,974			
		イ							
		ウ							
成果指標		ア %	4.09	4.54	3.88	5.06			
		イ							
		ウ							
上位成果指標		ア ha	16	39	48	22			
		イ							
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
森林所有者の不在村化や、登記名義人の死亡等による森林管理者の不明などで荒廃した山林が増加傾向にあった。そのため、県が「ふるさと森林管理促進事業」を創設した。本市では、平成16年より旧溝辺町・旧横川町が開始する。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
木材価格が低迷している。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
森林を適切に保全するため、森林整備へ更に支援の拡充を求める声がある。	

事務事業名	ふるさと森林管理促進事業	所属部	農林水産部	所属課	林務水産課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 当事業により森林施業が進み、森林整備が図られ、その結果森林が保全されるため政策体系に結びついている。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 森林・林業基本法第六条に「地方公共団体は、基本理念にのっとり、森林及び林業に関し、国との適切な役割分担を踏まえて、その地方公共団体の区域の自然的経済的社会的諸条件に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する」と規定されていることから、事業を実施することが妥当である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 溝辺・横川地区において合併前より継続で事業を行っているが、事業終了後他地区での事業実施を行うよう検討している。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 市内全地区において事業を実施すれば成果が向上すると思われるが、現状では財政難により県補助金の増額が見込めないため、地区を分けて事業を行わざるをえない状況である。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ この事業を中止・廃止すると、所有者や保全対象林の情報が分からなくなり、森林施業の推進が進まないため森林保全に影響が出る。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ この事業以外に森林所有者等の調査を行う補助事業がないため。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ この事業の事業費は臨時職員の賃金や事務費であるため、これ以上の削減は難しい。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 県の実施要領に基づき事業を行っているため、人件費の削減は難しい。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ この事業は該当地区の全森林の調査を行い、所有者や管理者を特定し台帳作成を行い施業推進するものであるため、公平である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	現在、この事業は合併前からの継続事業ということで溝辺・横川地区のみで実施している。市内全地区にて実施できれば成果が向上する余地があるが、県補助金の増額が見込めないため難しい。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 溝辺・横川地区での事業が終了後他地区で実施するなど、県補助金を有効に使い実施したい。																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策  
 県補助金(事業費の50%)の増額が難しいため、溝辺・横川地区が終了後、他地区で事業実施ができればよいが、現状では不在村地主や管理者不明の山林が年々増加していくため、なかなか事業が終了しない。今後も市内全域で森林組合等と連携を密にし、放置林対策を行わなければならない。

No.	530-140	事務事業名	松くい虫防除事業				所属部	農林水産部
							所属課	林務水産課
政策体系	政策名	0 2	自然にやさしいまちづくり				課長名	山下 晃
	施策名	0 1	自然環境の保全				所属G(係)	林務グループ
	基本事業名	0 2	森林の保全				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	森林病害虫等防除法
	一般	0 6	0 2	0 2	91010	松くい虫防除事業		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
公益的機能の高い松林について、空中散布を主体とする薬剤の予防散布、薬剤の樹幹注入及び被害木の伐倒駆除を総合的に区組み合わせて防除を行い、松くい虫の被害の防止を図る。							<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
							<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 52 年度 ~ )	
							<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (            年度 ~            年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 景勝松へ薬剤の樹幹注入, 被害木の伐倒・くん蒸		ア	景勝松林樹幹注入本数
			単位
			本
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 景勝松へ薬剤の樹幹注入, 被害木の伐倒・くん蒸		イ	伐倒・くん蒸
			単位
			m <sup>3</sup>
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 松林		ウ	航空防除
			単位
			ha
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 松林の健全な育成・保全を図る。		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	
		ア	景勝松対象松
			単位
			本
		イ	被害木材積
			単位
			m <sup>3</sup>
		ウ	対象松林面積
			単位
			ha
結果(どんな結果に結び付けるのか) 保全される。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	樹幹注入本数 / 景勝松対象松
			単位
			%
		イ	伐倒・くん蒸量 / 被害木材積
			単位
			%
		ウ	航空防除比率
			単位
			%
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	植林された森林面積
			単位
			ha

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円	5,563	4,814	2,205	1,847		
		地方債	千円						
		その他	千円	298		205	241		
		一般財源	千円	1,299	460	1,100	1,139		
	事業費計(A)	千円	7,160	5,274	3,510	3,227			
活動指標		ア 本	96	0	106	146			
		イ m <sup>3</sup>	91	48	119	100			
		ウ ha	122	128	0	0			
対象指標		ア 本	587	587	587	587			
		イ m <sup>3</sup>	136	72	219	150			
		ウ ha	316	281	-	-			
成果指標		ア %	16.4	0.0	18.1	24.9			
		イ %	66.9	66.6	54.3	66.6			
		ウ %	38.6	45.6	-	-			
上位成果指標		ア ha	16.0	39.2	47.6	22.0			
		イ							
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
移入虫であるマツノダラカミキリ虫が媒介するマツノザイセンチュウで松が枯死するため、昭和52年度から森林の荒廃を防ぐために開始した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
10年周期くらいで被害量は増えたり減ったりを繰り返している。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
航空防除に対し、養蜂家の同意が得られず平成20年度から休止した。	

事務事業名	松くい虫防除事業	所属部	農林水産部	所属課	林務水産課
-------	----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 松林の健全育成・保全を実施することで政策体系に結びついている。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 観光客や市民の訪れる憩いの場の自然環境の保全を図ることを目的としているので公共関与は妥当である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象については松林で、意図については健全な育成・保全であるためそれぞれ妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 散布薬剤によるミツバチへの影響で養蜂家への理解が得られないため航空防除ができない。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 松くい虫による松枯れ被害が拡大する。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 類似事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 事業費の削減は事業量(成果)の縮小に繋がる。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 委託で事業を行うため人件費には影響しない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 観光資源としても松林を保全することは、広く市民にとっても有益であるので公平・公正である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																		
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	養蜂家への理解が得られず平成20年度から一般航空防除が休止せざる得なくなつたが、その影響が懸念される。																		
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 航空防除が休止せざる得ないので、伐倒くん蒸、樹幹注入で被害拡大防止に努める。また、養蜂家の理解が得られれば航空防除も実施したい。	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持			低下		
	コスト																		
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持																		
	低下																		
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 養蜂家の理解が得られない。打開する方法を模索する。																			





事務事業名	森林維持管理事業	所属部	農林水産部	所属課	林務水産課
-------	----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 市の所有する山林を適切に維持管理することによって森林が保全されるので政策体系に結びついている。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 市有林のため、市が管理を行わなければならない。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象が市有林であり、この意図が市有林の維持管理であるため妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 近年、企業が環境保全を目的に自治体へ寄付を行っている。本市でも19年度にトヨタ車体より寄付があり森林整備を行ったが、今後もこのような寄付を募り森林施業を行えば成果の向上余地はある。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 市有林の維持管理を図らなければ森林が荒廃するので、市への管理責任を問われる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 他に手段は無い。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 補助事業により施業できるところは積極的に補助事業を導入しているので事業費を削減することは困難である。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 現在、市有林の施業は森林組合等の事業体に委託(入札形式)しているため、人件費の削減も困難である。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 市有林の維持管理事業であるため、一部の受益者に偏ることは無い。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	市有林の森林施業については補助事業を活用できるところは積極的に利用している。また、森林組合等の事業体が行う「緑の雇用担い手育成事業」での研修場所として市有林を積極的に利用してもらい、無料で施業を実施してもらっている。加えて、寄付事業への参入を企業等に募り森林施業を行えば成果の向上を図れる。																
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																	
全国的に企業の業況が低迷する中での植林事業等への参入を促すには厳しい状況である。植林等の場所確保と小規模であっても事業参入していただける企業の開拓を根気強く行う。																	

No.	530-160	事務事業名	森林環境税事業				所属部	農林水産部	
							所属課	林務水産課	
政策体系	政策名	0	2	自然にやさしいまちづくり				課長名	山下 晃
	施策名	0	1	自然環境の保全				所属G(係)	林務G
	基本事業名	0	2	森林の保全				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠		
	一般	0	6	0	2	0	5	94025	森林環境税関係事業(補助)
	一般	0	6	0	2	0	5	94035	森林環境税関係事業(単独)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
市で委嘱した森林づくり推進員活動等を利用し、間伐未実施林分の把握、森林所有者への間伐の督促、選木、伐採の指導及び現地調査を行い、森林の一体的かつ効率的な整備、森林の多面的な機能の維持、増進を図る。また間伐作業に必要な作業路等開設に係る経費を50%助成することにより、森林所有者の施策意欲が向上し、健全な森林を育み、森林の持つ公益的機能の維持を図る。							<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
							<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 17 年度 ~ )	
							<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ ( 年度 ~ 年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)									
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 森林づくり推進員活動事業 265日 森林づくり基盤整備事業(作業路・集材路開設) 17,280m 21年度計画(21年度に計画している主な活動) 森林づくり推進員活動事業 265日 森林づくり基盤整備事業(作業路・集材路開設) 22,500m		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 推進員活動日数</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>イ 作業路等開設延長</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		名称	単位	ア 推進員活動日数	日	イ 作業路等開設延長	m	ウ	
名称	単位										
ア 推進員活動日数	日										
イ 作業路等開設延長	m										
ウ											
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 森林所有者・民有林		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 森林施業計画面積</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td>イ 林業作業従事者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		名称	単位	ア 森林施業計画面積	ha	イ 林業作業従事者数	人	ウ	
名称	単位										
ア 森林施業計画面積	ha										
イ 林業作業従事者数	人										
ウ											
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 施業が進み、森林の整備が図られる。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 施業実施面積 / 森林施業計画面積</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		名称	単位	ア 施業実施面積 / 森林施業計画面積	%	イ		ウ	
名称	単位										
ア 施業実施面積 / 森林施業計画面積	%										
イ											
ウ											
結果(どんな結果に結び付けるのか) 森林が保全される。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 植林された森林面積</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		名称	単位	ア 植林された森林面積	ha	イ		ウ	
名称	単位										
ア 植林された森林面積	ha										
イ											
ウ											

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円	1,728	831	795	795	
		地方債	千円					
		その他	千円					
	一般財源	千円	8,514	3,085	5,195	6,095		
	事業費計(A)	千円	10,242	3,916	5,990	6,890		
活動指標	ア	日	289	277	265	265		
	イ	m	2,262	4,220	17,280	22,500		
	ウ							
対象指標	ア	ha	29,964	29,964	29,964	29,964		
	イ	人	673	527	146	500		
	ウ							
成果指標	ア	%	4.10	4.50	4.70	5.20		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア	ha	16.0	39.2	47.6	22.0		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
平成17年度から森林環境税を財源とする事業が始まり、森林づくり推進員(間伐推進員)活動補助がスタートした。また、造林事業等も始まったため、作業路・集材路開設に対する上乗せ補助を開始した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
木材価格が低迷している。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
森林所有者から、森林を適切に保全するため更に支援の拡充を求める声がある。	

事務事業名	森林環境税事業	所属部	農林水産部	所属課	林務水産課
-------	---------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 当事業により森林施業が進み、森林整備が図られ、その結果森林が保全されるため政策体系に結びついている。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 森林・林業基本法第六条に「地方公共団体は、基本理念にのっとり、森林及び林業に関し、国との適切な役割分担を踏まえて、その地方公共団体の区域の自然的経済的社会的諸条件に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する」と規定されており、森林の保全は市の役割としていることから支援することが妥当である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 国・県の補助制度と同様の対象・意図を設定しているため、妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 施業意欲や木材価格の低下等により、森林所有者からの同意が得られず適切な森林整備が行われない民有林(放置林)が一部あるため、間伐推進員を増員することにより成果の向上余地がある。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 現在木材価格が低迷しており、補助金がないと施業経費がまかなえない状況であり、廃止すれば施業面積が減少するおそれがあり、森林保全へ与える影響が大きい。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↷ 県の補助事業として作業路等開設に係る費用の50%を補助している。 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 市の支援事業(作業路等開設事業費の50%)として、県補助事業に採択された箇所に対して補助を行うことで、事業が実施されているのが実態であり、既に連携がなされており、これ以上の連携は難しい。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 木材価格が低迷している現在、森林所有者は補助金がないと施業経費がまかなえない状況であり、これ以上事業費を削減するのは困難である。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 補助金の支払い事務が大半でありこれ以上の業務時間削減は難しい。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ この事業は森林組合を通じて山林所有者への補助(施業の推進や作業路開設等)を行う事業であり公平である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
<table border="0"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>森林所有者から森林整備に関しての同意が得られず放置された森林も存在しているため、森林整備のみならず森林保全の重要性の啓蒙を行い、森林整備を積極的に進めることで事業の有効性が高まる。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 一部には放置林等も存在するため、森林整備計画において要間伐森林(早急に実施する必要があるもの)を指定し、森林の所在、間伐の実施時期等を規定し施業実施したい。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 森林整備にあまり関心のない森林所有者(不在村地主等)の森林は、施業の同意が得られずに放置林となっている。今後森林整備を進める上で不在村地主等への施業の推進を図る等の対策が重要である。																						

No.	530-170	事務事業名	森林整備事業				所属部	農林水産部
							所属課	林務水産課
政策体系	政策名	0 2	自然にやさしいまちづくり				課長名	山下 晃
	施策名	0 1	自然環境の保全				所属G(係)	林務G
	基本事業名	0 2	森林の保全				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠 森林・林業基本法	
	一般	0 6	0 2	0 5	94010	流域公益保全林整備事業(民有林)		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
森林所有者の施業意欲の向上と、健全な森林を育み自然環境を保全することを目的として、除間伐に事業費の10%、作業路等の開設に事業費の32%の補助を行い、森林の適切な維持を図る事業である。 【事業実施主体】各森林組合 【事業内容】作業路等開設整備・民有林施業(除間伐)						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 11 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (        年度 ~        年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)									
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) < 森林組合が行なう活動 > 作業路等開設整備(作業路・簡易作業路) 4,212m 民有林施業(除間伐) 433.5ha 21年度計画(21年度に計画している主な活動) 作業路等開設整備(作業路・簡易作業路) 6,500m 森林施業(除間伐) 586ha		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 作業路等開設延長</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>イ 施業実施面積</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		名称	単位	ア 作業路等開設延長	m	イ 施業実施面積	ha	ウ	
名称	単位										
ア 作業路等開設延長	m										
イ 施業実施面積	ha										
ウ											
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 民有林 < 交付対象者 > 市内の森林組合 < 対象活動 > 除間伐、作業路の開設		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 森林施業計画面積</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		名称	単位	ア 森林施業計画面積	ha	イ		ウ	
名称	単位										
ア 森林施業計画面積	ha										
イ											
ウ											
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 施業が進み、森林の整備が図られる。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 施業実施面積 / 森林施業計画面積</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		名称	単位	ア 施業実施面積 / 森林施業計画面積	%	イ		ウ	
名称	単位										
ア 施業実施面積 / 森林施業計画面積	%										
イ											
ウ											
結果(どんな結果に結び付けるのか) 森林が保全される。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 植林された森林面積</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		名称	単位	ア 植林された森林面積	ha	イ		ウ	
名称	単位										
ア 植林された森林面積	ha										
イ											
ウ											

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	14,328	15,566	12,974	15,974		
	事業費計(A)	千円	14,328	15,566	12,974	15,974			
活動指標	ア	m	9,975	6,823	4,212	6,500			
	イ	ha	567	548	434	586			
	ウ								
対象指標	ア	ha	29,964	29,964	29,964	29,964			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	%	4.09	4.54	3.60	4.85			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	ha	16.0	39.2	47.6	22.0			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 木材価格が低迷し、山林が荒廃しはじめたことから森林組合からの要請があり、平成11年度から助成を開始した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 木材価格が低迷している。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 森林所有者からは、環境保護のため、森林整備へ更に支援の拡充を求める声がある。	

事務事業名	森林整備事業	所属部	農林水産部	所属課	林務水産課
-------	--------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 当事業により森林施策がすすみ、森林整備が図られ、その結果森林が保全される。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 森林・林業基本法第六条に「地方公共団体は、基本理念にのっとり、森林及び林業に関し、国との適切な役割分担を踏まえて、その地方公共団体の区域の自然的経済的社会的諸条件に応じた施策を策定し、実施する責務を有する」と規定されており、森林の保全は市の役割としていることから支援することが妥当である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 国・県の補助制度と同様の対象・意図を設定しているため、妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 施策意欲や木材価格の低下等により、森林所有者からの同意が得られず適切な森林整備が行われない民有林(放置林)が一部あるため、間伐推進員活動等をさらに活用することにより成果の向上余地がある。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 現在木材価格が低迷しており、補助金がないと施策経費の負担増となる。廃止すれば施策面積が減少するおそれがあり、森林保全へ与える影響が大きい。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ 国・県の補助事業として施策に係る費用の68%を補助している。 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 市の支援事業(施策に係る費用の10%)として、国・県補助事業に採択された箇所に対して補助を行うことで、施策が実現されているのが実態であり、既に連携がなされており、これ以上の連携は難しい。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 木材価格が低迷している現在は、補助金がないと施策経費がまかなえない状況であり、これ以上事業費を削減するのは困難である。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 業務内容は補助金の支払いの事務であり、これ以上の業務時間削減は難しい。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ この事業は、森林組合を通じて山林所有者を対象として補助を行う事業であり公平である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	近年木材価格が低迷している中、本事業等の効果から森林整備への関心が高まりつつあり比較的間伐や造林が進んでいる。一方で、森林所有者から森林整備に関しての同意が得られず放置された森林も存在しているため、森林整備のみならず森林保全の重要性の啓発を行い、森林整備を積極的に進めることで事業の有効性が高まる。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> この事業により森林所有者の意識が高まり森林保全が進んでいるが、一部には放置林等にも存在するため、保全・管理等を適切に実施するため、森林整備計画において要間伐森林(早急を実施する必要があるもの)を指定し、森林の所在、間伐の実施時期等を規定し施策実施したい。																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策  
 森林整備にあまり関心のない森林所有者(不在村地主等)の森林は、施策の同意が得られず放置林となっている。今後森林整備を進める上で不在村地主等への施策の推進を図る等の対策が重要である。

No.	530-190	事務事業名	みどりの少年団育成事業				所属部	農林水産部
							所属課	林務水産課
政策体系	政策名	0 2	自然にやさしいまちづくり				課長名	山下 晃
	施策名	0 1	自然環境の保全				所属G(係)	林務グループ
	基本事業名	0 4	環境学習の推進				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 6	0 2	0 2	91010	林業振興費	緑の基金による森林整備等の推進に関する法律	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
次代を担う少年少女が「緑を愛し」「緑を守り」「緑を育てる心を養う」ことを通じて、人間性豊かな健康的で明るい社会人として育って行くことを目的とし活動している。市からの助成等により、みどりの少年団の育成と健全な発展を図っている。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( 不明 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ ( 年度 ~ 年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
手段(主な活動)	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
20年度実績(20年度に行った主な活動) みどりの感謝祭、みどりの少年団県大会参加	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア みどりの感謝祭参加</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>イ みどりの少年団県大会参加</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア みどりの感謝祭参加	回	イ みどりの少年団県大会参加	回	ウ	
名称	単位								
ア みどりの感謝祭参加	回								
イ みどりの少年団県大会参加	回								
ウ									
21年度計画(21年度に計画している主な活動) みどりの感謝祭、みどりの少年団県大会参加									
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 みどりの少年団員  <メモ>市内5小・中学校	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 少年団団員数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア 少年団団員数	人	イ		ウ	
名称	単位								
ア 少年団団員数	人								
イ									
ウ									
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 少年期に森林や緑とのふれあいを通じ、自然環境への理解を深める。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 緑化活動へ参加した団員延べ参加数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア 緑化活動へ参加した団員延べ参加数	人	イ		ウ	
名称	単位								
ア 緑化活動へ参加した団員延べ参加数	人								
イ									
ウ									
結果(どんな結果に結び付けるのか) 環境に関する関心と理解を深める	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 過去3年間に環境学習に参加したことのある市民の割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア 過去3年間に環境学習に参加したことのある市民の割合	%	イ		ウ	
名称	単位								
ア 過去3年間に環境学習に参加したことのある市民の割合	%								
イ									
ウ									

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業内訳	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	145	139	268	253		
	事業費計(A)	千円	145	139	268	253			
活動指標	ア	回	1	1	1	1			
	イ	回	1	1	1	1			
	ウ								
対象指標	ア	人	63	125	152	142			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	人	300	300	300	300			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	%	25.7	17.1	15.7	29.0			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 次代を担う青少年を大自然の中で緑を愛し、守り育てる心と健康で明るい心をもった人間を育てることを目的として開始される。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 少年団の運営が非常に難しい状況にあり、団体の減少、団員の減少に繋がってきている。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし。

事務事業名	みどりの少年団育成事業	所属部	農林水産部	所属課	林務水産課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 時代を担う少年少女の体験活動を通じ、自然環境に対する関心を高めることから政策体系に結びついている。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 少年少女の育成は次世代の森林づくりのためにも必要であることから行政関与は妥当である。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 少年少女のリーダー育成という見地から妥当である。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 学習内容の充実を図る	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 現在自然に触れ合う子ども達が少ない中、この事業が廃止となるとな一層その体験活動の機会を失うことになる。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↷ なぎさの少年団活動費補助	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 活動経費としての体験学習等の部分を補助しているため教材費等の削減はできない。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 自主的活動がほとんどであり、予算執行事務が主なものであり削減余地はない。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 受益機会は全小・中学校へ呼びかけているので、公平・公正である。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	地域ごとに組織があるわけではなく公平性に欠ける感はあるが、対象地域への少年団組織の設立、活動内容充実について呼びかけていく。 (なぎさの少年団との連携を検討し事業集約を行う)

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 今後、組織、活動内容等を再検討し、まず現体制を維持しながら新しい体制づくりをする必要がある。その上で健康で明るい心をもった人間を育てることを目的とした少年団活動(森林での学習活動、ボランティア、キャンプ等)を行う。																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
現状では、各学校単位で組織しているものを多くの学校に呼びかける。



No.	530-210	事務事業名	なぎさの少年団育成事業				所属部	農林水産部
							所属課	林務水産課
政策体系	政策名	0 2	自然にやさしいまちづくり				課長名	山下 晃
	施策名	0 1	自然環境の保全				所属G(係)	水産G
	基本事業名	0 4	環境学習の推進				電話番号	45-5111
予算科目	会計	一般	0 6	0 3	0 2	96010	事業名	水産業振興費
							法令根拠	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
なぎさの少年団活動費補助・・・小学生を対象にした自然風土を活用した特色ある教育活動で、マダイ・ヒラメの放流体験、海岸清掃等渚を中心とした環境教育を基本とした事業の一部を補助する。							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 6 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
なぎさの少年団・・・稚魚放流、港の清掃、海岸清掃、魚料理教室		ア	補助交付団体数
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	
前年度と同様		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
なぎさの少年団員		名称	
<メモ> 福山小学校児童		単位	
[交付先] 福山小学校		ア	児童数
[対象活動] 繁殖保護事業、港の清掃等		イ	漁港などの漁業環境
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		ウ	
児童に自然や漁業に関心を持たせる。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		名称	
環境に関する関心と理解を深める。		単位	
		ア	放流活動、清掃活動に参加した児童
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア	過去3年間に環境学習に参加したことのある市民の割合
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業内訳	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
	一般財源	千円	60	54	34	30		
	事業費計(A)	千円	60	54	34	30		
活動指標		ア 団体	1	1	1	1		
対象指標		ア 人	67	67	60	60		
		イ 箇所	1	1	1	1		
成果指標		ア 人	67	67	60	60		
上位成果指標		ア %	25.7	17.1	15.7	29.0		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
渚を中心とした環境教育を基本にした体験学習を行いたいとの要望により平成6年から開始した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
5年前に比べると活動内容もより渚に関係のあるものになってきている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
小学校関係者より自然風土を生かした教育が得られる事は子供達にとっても意義のあることなので、事業を続けてほしいとの要望あり。	

事務事業名	なぎさの少年団育成事業	所属部	農林水産部	所属課	林務水産課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事業を通して錦江湾の生物を知る機会が得られ、錦江湾の環境に対する関心と理解が深まるので政策体系に結びついている。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 小学生のうちから渚に関する多様な経験活動を実施することで、環境問題や自分達の手で身近な海を守っていかなければならないという意識を持ってもらう動機づけを行えるため妥当である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 一部の地区の生徒に限らず、対象を拡大する必要がある。意図は、関心を持たずことから入ることで妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 事業目的以上の成果向上は見込めない。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 現在自然に触れ合う子ども達が少ない中、この事業が廃止となるとなお一層その体験活動の機会を失うことになる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) みどりの少年団 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ みどりの少年団等森林関係の事業と連携することにより、山から海までとよりいっそう充実した活動が出きると考える。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 事業費は海岸周辺の清掃活動等の必要経費であり、これ以上の削減は難しいと考える。 (事業の備品・消耗品等68,000円 補助事業費34,000円)
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 自主的活動がほとんどであり、予算執行事務が主なものであり削減余地はない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 受益地区は福山小学校のみに限定されているが、門戸は広げているので公平・公正である。 (呼びかけをしていく必要あり)

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	地域ごとに組織があるわけではなく公平感にける感はあるが、各少年団組織の設立、活動内容について呼びかけていく。 (みどりの少年団との連携を検討し事業集約を行う)																
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 対象範囲を拡大するために他地域の小学校等の協力を求める。																	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 内容についての検討を学校や地域とも連携を取り行う。																	

No.	530-220	事務事業名	鮎まつり開催事業				所属部	農林水産部
							所属課	林務水産課
政策体系	政策名	0 2	自然にやさしいまちづくり				課長名	山下 晃
	施策名	0 1	自然環境の保全				所属G(係)	水産G
	基本事業名	0 4	環境学習の推進				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 6	0 3	0 2	96010	水産業振興費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
イベントを開催し、市の貴重な天然資源のひとつであり豊かな自然の象徴である鮎を広く市内外にPRするとともに、河川の環境保全・資源保護啓発の推進を図る事業である。 隼人地区の天降川河川敷公園で年に1回、6月1日の鮎解禁日後の日曜日に開催。関係団体(地域、漁協や商工会、旅館、観光協会など)によって組織される鮎まつり実行委員会が主催する。 鮎の塩焼き・鮎飯の試食・活き鮎販売・魚のつかみ取り・×クイズ各コーナー他を設置し実施する。 19年度については鮎の売上金も事業費の中に入っている。						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 元年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 鮎まつりイベントの開催 事業費 1,439,867円		名称 ア イベント開催数 単位 回	
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 鮎まつりイベントの開催 事業費 1,726,180円		イ 鮎まつりの参加者数 人	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 市民及び市外からの来客者 補助対象者 鮎まつり実行委員会 対象活動 鮎まつりイベント開催にあたっての経費、会の運営費		ウ 設置されるコーナーの数 箇所	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 自然体験を通じ天降川が鮎の生息する自然豊かな川であることを知り、そこで息づく川の生物を知る		対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 ア 来場者数 単位 人	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 環境に関する関心と理解を深める		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 ア 川の生物に関する ×クイズの参加者 / 来場者数 単位 %	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 名称 ア 環境学習に参加したことのある市民の 単位 %	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	1,300	913	935	1,000	
事業費計(A)		千円	1,300	913	935	1,000		
活動指標		ア 回	1	1	1	1		
		イ 人	8,000	8,000	9,000	10,000		
		ウ 箇所	7	7	8	8		
対象指標		ア 人	8,000	8,000	9,000	10,000		
		イ						
		ウ						
成果指標		ア %	3	3	3	3		
		イ						
		ウ						
上位成果指標		ア %	25.7	17.1	15.7	29.0		
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
開始時期...平成元年 川の漁業協同組合より祭を通して天降川の鮎を県内外にPRを行いたいとの要望があり開始した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
来客数も年々増加し、鮎のPRや河川の環境保全・資源保護啓発が図られてきた。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特色のある祭で周知度もアップしており、継続してほしい(実行委員会及び参加者からの意見)	

事務事業名	鮎まつり開催事業	所属部	農林水産部	所属課	林務水産課
-------	----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ まつりでの自然体験や川の生物を知る事により天降川が自然豊かな川である事を知る機会が得られ、川の環境に対する関心と理解が深まるので結びついている。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 環境問題について関心が多い昨今、市民ひとりひとりが環境問題や自分達の川を守っていかなければならないという意識を多くの市民に持ってもらう動機づけを行う事業であるため妥当である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象は市、県内外を問わず多くの人が来場でき妥当である。意図もまつりを通して霧島市を流れる天降川の自然を市、県内外にアピールし環境に関しての意識を高めてもらうために妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 実行委員会の会合数を増やし、自分達のまつりであることを意識し、積極的にアイデア等を出し合い更に内容を検討することで成果向上の余地がある。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 廃止した場合、霧島市の川は鮎が遡上する自然豊かな川であることを県内外の人々に知ってもらう機会が減る。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 鮎漁に合わせた時期に開催するまつりであり、同時期に連携できるような事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ まつり当日の鮎の売上げが増加すれば事業費削減の余地あり。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 今後更に地域や各種団体の協力を準備段階からいただく事で業務時間の削減余地がある。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 霧島市民を問わず県内外の参加したいと思うすべての人が対象であり、公平である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	市の貴重な天然資源のひとつであり豊かな自然の象徴である鮎を広く市内外にPRするという点では公平で妥当なまつりである。地域住民や関係機関と一緒に鮎まつりを盛り上げていけるよう、内容の充実をはかり、少ない補助金でいかに効率をあげるかが今後の課題である。																
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 関係機関や地域住民と一緒に取組み、少ない予算で事業内容の充実を図る。																	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 早い段階で実行委員会を立ち上げ、地域や各種団体と一緒にまつりに向けて準備を進めていく。																	

No.	530-260	事務事業名	しいたけ生産組織育成事業				所属部	農林水産部
							所属課	林務水産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	山下 晃
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	林務グループ
	基本事業名	0 1	農林業経営体への支援				電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠
	一般	0 6	0 2	0 2	91090	林業振興費	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
しいたけ産業の振興を促進するため、生産量の増大と品質の向上、原木の需要安定を図るため、活動資金の一部について助成、また貸付を実施する。 補助団体 霧島市しいたけ生産振興会		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 48 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (        年度 ~        年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
しいたけ生産振興会補助金 (65千円)		ア	しいたけ生産振興会補助団体数
			団体
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	
しいたけ生産振興会補助金 (60千円)		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
しいたけ生産振興会員(しいたけ生産者)		名称	
<交付先> しいたけ生産振興会		単位	
<対象活動> 運営費		ア	しいたけ生産振興会会員数
			人
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
しいたけ生産量の増大		名称	
		単位	
		ア	しいたけの生産量(乾しいたけ)
			K g
		イ	しいたけの生産量(生しいたけ)
			K g
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
体質が強化される。		名称	
		単位	
		ア	経営体が施業を実施した面積
			ha
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業内訳	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	54	70	65	60	
	事業費計(A)	千円	54	70	65	60		
活動指標		ア 団体	3	4	1	1		
対象指標		ア 人	35	35	25	25		
成果指標		ア Kg	13,333	12,638	12,425	12,990		
		イ Kg	61,211	50,777	41,923	57,329		
上位成果指標		ア ha	567	548	556	583		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
昭和48年に生産者の技術向上、生産性向上、経営の安定を目的として開始。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
中国産の輸入等による価格低迷、生産者の高齢化等により生産戸数は減少しているが、県の認証を受けるなど高品質等技術向上に努めている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
生産振興会員から貸付金制度の改善を求める声がある。	

事務事業名	しいたけ生産組織育成事業	所属部	農林水産部	所属課	林務水産課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 特用林産物生産組織を支援し、経営体の強化を図ることで、政策体系に結びついている。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 特用林産物生産組織の育成は林産業の振興を図るのに必要があるため妥当である。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 対象はしいたけ生産振興会員であり、意図は生産量の増大であるため農林水産業の振興に適切である。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 運営補助であって、事業目的以外の成果向上余地はない。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 研修会や現地検討会等の機会が減少する。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷		目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 類似事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷	
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 運営費補助であるので事業対象を明確化するなどし、組織が軌道に乗った時点で削減するのは可能である。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 予算執行が主な作業となるため、削減余地はない。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 受益機会は、生産者組織に加入することによってあるため、公平である。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	組織運営が軌道に乗った場合については、事業費の削減を検討する。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 補助対象経費の洗い出しを行い、補助事業のスリム化を行う。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策  
 加入者相互の関係を深めながら自主的な活動を支援していく。補助事業の削減については組織での違和感が発生することとなる。経費区分等を行い十分な説明を行うことで解消したい。

No.	530-280	事務事業名	森林整備地域活動支援事業				所属部	農林水産部
							所属課	林務水産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	山下 晃
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	林務G
	基本事業名	0 1	農林業経営体への支援				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	
	一般	0 6	0 2	0 5	94040	森林整備地域活動支援事業		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
木材価格の低迷やコストの増大等による森林所有者の経営意欲の低下、また林業従事者の減少・高齢化により林業生産活動が停滞しており、森林施業が的確に実施されにくい状況となっている。 そのため、森林施業計画に基づく協定を締結した山林にhaあたり5,000円、今後施業計画に組み込む山林にhaあたり15,000円の交付金を交付し、山林の現況調査や作業路等の補修を行い、森林施業の推進を図る。						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ ) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( H 14 年度 ~ H 23 年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
森林整備地域活動支援交付金		ア	支援交付金交付団体
協定締結数 82		イ	
森林情報の収集活動 20 施業実施区域の明確化作業 62		ウ	
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
森林整備地域活動支援交付金		名称	
協定締結 82		単位	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		ア	協定締結数
森林整備協定締結者(団体)		イ	支援事業対象森林面積
森林施業計画対象区域内の森林		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
間伐等森林整備が進む		名称	
		単位	
		ア	支援交付金交付団体
		イ	森林施業計画面積
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
体質が強化される		名称	
		単位	
		ア	経営体が施業を実施した面積
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円	60,297	36,860	36,266	36,372	
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	20,559	12,877	12,089	12,714	
		事業費計(A)	千円	80,856	49,737	48,355	49,086	
活動指標		ア 団体	5	5	5	6		
対象指標		ア 協定	114	66	82	66		
		イ ha	7,940	9,216	9,351	9,370		
成果指標		ア 団体	5	5	5	6		
		イ ha	11,871	12,068	15,817	12,100		
上位成果指標		ア ha	567	548	434	583		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 平成14年度より国がこの事業を開始した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 14年度から18年度までは支援事業対象面積に対し10,000円/ha交付していたが、平成19年度より事業の内容により15,000円/ha、5,000円/haと分けて交付するようになった。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特に要望・意見等は寄せられていない。	

事務事業名	森林整備地域活動支援事業	所属部	農林水産部	所属課	林務水産課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘ 当事業により森林施業がすすみ、森林整備が図られ、その結果経営体の体質が強化される。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘ 国の事業であり、公共関与は妥当である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘ 国、県の実施要領に基づき事業を行っているため適切である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘ 森林整備の重要性を所有者に理解してもらい、森林施業計画への登載に同意をもらうよう、森林づくり推進員活動等も積極的に利用することにより、成果の向上余地がある。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘ 現在木材価格が低迷しており、廃止すれば森林所有者の負担が増えるため、施業面積が減少する。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input type="checkbox"/> 連携できない ↘ 国、県の実施要領に基づき事業を行っており、類似事業もないため統廃合・連携は難しい。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↘
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ 負担割合が決められており、事業費を削減するのは困難である。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ 交付金の支払に伴う事務が大半であり業務時間削減は難しい。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘ この事業は森林組合を通じて山林所有者への補助(施業前の森林現況調査や作業路開設等)を行う事業であり公平である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	近年木材価格が低迷している中、本事業等の効果から森林整備への関心が高まりつつあり比較的間伐や造林が進んでいる。一方で、森林所有者から森林整備に関しての同意が得られず放置された森林も存在しているため、森林整備のみならず森林保全の重要性の啓発を行い、森林整備を積極的に進めることで事業の有効性を高める。																
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 森林整備にあまり関心のない森林所有者(不在村地主等)の森林は、施業の同意が得られずに放置林となっている。今後森林整備を進める上で不在村地主等への施業の推進を図る等の対策が重要である。																	



No.	530-290	事務事業名	鳥獣被害防除・捕獲対策事業				所属部	農林水産部			
							所属課	林務水産課			
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	山下 晃			
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	林務グループ			
	基本事業名	0 1	農林業経営体への支援				電話番号	45-5111			
予算科目	会計	一般	6	0	2	0	2	91015	鳥獣被害防除・捕獲対策事業外	法令根拠	鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
近年、野生鳥獣による農作物の被害が恒常的に発生しているため、被害等の状況を的確に把握するとともにその被害防止策を図る。 捕獲隊に有害鳥獣の捕獲を指示し、農産物へ被害を及ぼす有害鳥獣捕獲を速やかに行い被害の軽減に努めている。(捕獲報償金を支払う)							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 44 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (            年度 ~            年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 有害鳥獣駆除報償金の交付(イノシシほか 1,024頭(羽), 4,858千円) 捕獲隊への運営費補助(4団体, 503千円)		名称 ア 捕獲計画頭(羽)数 単位 頭(羽)	
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度と同様		対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 ア 被害件数 単位 件	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 農林水産物		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 ア 指示件数 単位 件	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 有害鳥獣による農林水産物の被害を防止する。		上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 名称 ア 経営体が施業を実施した面積 単位 ha	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 経営体質が強化される。			

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円	687	431	528	534		
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	5,027	4,336	5,951	4,677		
事業費計(A)		千円	5,714	4,767	6,479	5,211			
活動指標		ア 頭(羽)	5,100	4,100	4,450	4,500			
対象指標		ア 件	190	181	215	200			
成果指標		ア 件	86	108	84	90			
上位成果指標		ア ha	567	548	434	583			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 鳥獣による農林産物への被害を軽減するため昭和44年から実施が始まった。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律が平成20年に施行され、被害防止対策が強化された。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 農・林家から被害防止対策の強化を要望される。	

事務事業名	鳥獣被害防除・捕獲対策事業	所属部	農林水産部	所属課	林務水産課
-------	---------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 鳥獣被害防除・捕獲することが農林業経営体への支援となっているので結びついている。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 被害は市内全域に及ぶため、公共で行うべきである。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 対象は農林水産物であり妥当である。意図については有害鳥獣による被害の防止なので妥当である。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 体制の再編・強化図ることで効率的な事業を推進できる。(捕獲隊の統合)	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 有害鳥獣による農林水産物への被害が拡大する。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↳ 電気柵設置補助事業	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 捕獲実施にあたっては、銃器、罟ともに銃砲用火薬類や道具代などの経費がかかり、その一部を報償費で賄っているため、捕獲報償費の削減は捕獲隊の協力、同意が得られない。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 支所単位での事務(被害調査,捕獲指示等)の統一化を図り、効率的な事務事業を行う。	
	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 全ての農林水産物に対応しているため公平である。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	捕獲隊員の高齢化、減少により捕獲隊の維持が困難な地区があり、十分な捕獲の成果が出ない状況である。今後、組織の再編等を検討し、有効性・効率性の改善に努める。																									
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<改革改善案> 捕獲隊の体制の再編(捕獲隊の統合)・強化図ることで有効な捕獲ができる。また、事務の統一化を図り効率的な事務事業行う。																								
		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>▲</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>▲</td> <td>▲</td> <td>▲</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持			▲	低下	▲	▲	▲
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持			▲																						
	低下	▲	▲	▲																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 旧市町村単位で捕獲隊があり、それぞれの体制に差異があるため統合に向け協議を進める。(一部統合済)																										

No.	530-310	事務事業名	林業就労改善推進活動支援事業				所属部	農林水産部		
							所属課	林務水産課		
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	山下 晃		
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	林務グループ		
	基本事業名	0 1	農林業経営体への支援				電話番号	45-5111		
予算科目	会計	一般	0 6	0 2	0 2	91090	事業名	林業振興費	法令根拠	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
林業従事者の就労条件の改善(社会保険制度等加入促進、退職金制度加入促進、就労奨励)を図るため、(財)鹿兒島県林業担い手基金、森林組合、林業従事者で行う林業就労改善推進活動費へ補助金を交付する。 県が認定する認定事業体の負担すべき社会保障1/2分を1/3ずつ基金・森林組合・市で負担する事業である。 なおここでいう林業従事者とは年間就労日数150日以上のもので、主に造林、保育、伐採及び作業路の開設等に従事している者をいう。							<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
							<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 3 年度 ~ )	
							<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ ( 年度 ~ 年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
補助金交付 (千円、人)		ア	補助金額
19年度計画(19年度に計画している主な活動)		イ	交付対象従事者
前年度と同様		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
林業従事者		名称	
< 補助金交付先 > 森林組合		ア	林業従事者数
< 補助対象活動 > 林業就労改善推進		イ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
林業従事者の就労条件の改善がなされる。		名称	
林業従事者の増加を図る。指標は就労日数150日以上の交付対象の数を増加させる。		ア	社会保険等加入対象従事者
結果(どんな結果に結び付けるのか)		イ	退職金制度加入対象従事者
経営体質が強化される		ウ	就労奨励事業対象従事者
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	経営体が施業を実施した面積
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	6,321	6,340	4,968	7,159	
	事業費計(A)	千円	6,321	6,340	4,968	7,159		
活動指標		ア 千円	6,321	6,340	4,968	6,000		
		イ 人	135	137	123	137		
		ウ						
対象指標		ア 人	135	137	123	137		
		イ						
		ウ						
成果指標		ア 人	38	40	38	40		
		イ 人	38	40	47	40		
		ウ 人	38	36	37	40		
上位成果指標		ア ha	567	548	434	583		
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
平成3年度から林業従事者の就労条件の改善による労働力の確保を目的として開始。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
特に変化なし	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特になし	

事務事業名	林業就労改善推進活動支援事業	所属部	農林水産部	所属課	林務水産課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 林業従事者の就労条件の改善がなされれば、林業経営の体質が強化されるため結びついている。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 林業経営が厳しい中、労働力の確保には就労条件(身分保障)の改善が必要であり、林業振興を行う必要、施行面積の増加を図る必要があるため妥当である。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 林業従事者を対象としているため、その就労条件を改善することは意図として適切である。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 上位組織補助制度であって、補助事業の改善等はできないため、市で成果を向上させることはできない。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 認定事業体の負担が増加するため、社会保障等の費用が増加し、経営を圧迫する。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷		目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 類似事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷	
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 木材価格の上昇の見込みがないため、林業従事者の就労条件の改善が見込めず削減余地がない。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 補助金交付事務であるため削減する部分がない。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 上位組織補助制度であって、受益機会は公平である。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	適切な事業であって、現状維持とする。																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>▲</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>▲</td> <td>▲</td> <td>▲</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			▲	低下	▲	▲	▲
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持			▲																				
	低下	▲	▲	▲																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																								

No.	530-330	事務事業名	天降川漁協運営支援事業				所属部	農林水産部
							所属課	林務水産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	山下 晃
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	水産G
	基本事業名	0 2	生産基盤の整備				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 6	0 3	0 2	96010	水産業振興事業		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
堰等により遡上できない鮎を上流から放流することにより天降川水系の資源の維持増殖に努める。 繁殖保護費 2,019,000円中 市補助金 427,000円 4月に2回稚鮎放流(20年度実績)		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 10 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
事務事業の概要と同様		ア	補助金交付団体数
			団体
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	放流回数
前年度と同様		ウ	回
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
内水面漁業者		名称	
(交付先)天降川漁業協同組合		単位	
(対象活動)稚鮎の放流事業		ア	海面漁業者数
		イ	人
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
天降川水系に生息する鮎の維持増殖		名称	
		単位	
		ア	鮎放流数量
		イ	kg
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
稚魚の放流を行い、水産資源の維持・培養を図る。		名称	
		単位	
		ア	放流した稚魚の数
		イ	万尾
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	500	450	427	427	
	事業費計(A)	千円	500	450	427	427		
活動指標		ア 団体	1	1	1	1		
		イ 回	1	2	2	2		
		ウ						
対象指標		ア 人	41	34	34	34		
		イ						
		ウ						
成果指標		ア kg	200	100	100	100		
		イ						
		ウ						
上位成果指標		ア 万尾	40.2	40.5	40.5	40.5		
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
平成10年から九電の堰が出来たことにより、鮎の遡上が少なくなったことがきっかけである。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
5年前と比べると鮎の数は激減しており、鮎漁の存続も難しい状況である。原因は特定できないが海の沿岸で生活する際のプランクトン数の減少が原因ではないかと言われている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
天降川水系の維持のためにもこの事業を続けてほしい。(天降川漁業協同組合)	

事務事業名	天降川漁協運営支援事業	所属部	農林水産部	所属課	林務水産課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 稚魚の放流を行う事によって天降川水系の資源の維持増殖に努めているので、政策体系に結びつく。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 稚魚の放流事業により市民が利用する天降川水系の資源の維持増殖が図るため妥当である。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 対象は天降川漁協、意図は天降川水系の資源の維持増殖であるため妥当である。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 事業目的以上に成果を向上させることはできない。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 稚魚放流を中止することにより、鮎の遡上が少なくなり資源の維持増殖が難しくなり、また漁獲高が減少する。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷		目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷ 他に類似事業はない。	
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業費の殆どは放流鮎購入費の経費であり、削減は難しい。 (鮎購入費1,309,000円・補助事業費427,000円)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 人件費は予算執行事務と放流の立会いのみであり、削減余地がない。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 内水面漁協への補助事業は本事業のみであって、他の漁協とのバランスは取れていない。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	事業補助等への移行を検討し、不公平感を取り除くことが求められる。しかし、事業費が増加する可能性がある。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善)    (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
<改革改善案> コストを維持しながら、他組織との公平感を保つ事業への移行を行う。																							

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
現在の補助金交付団体の理解が得られるかが課題となる。 事業対象を明確化し、事業補助としての事業内容の改善を行う。

No.	530-340	事務事業名	漁業資源繁殖施設整備事業				所属部	農林水産部
							所属課	林務水産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	山下 晃
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	水産G
	基本事業名	0 2	生産基盤の整備				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 6	0 3	0 2	96010	水産業振興事業		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
アオリイカ、コウイカ等の産卵場所の少ない福山地区の沖合いにイカ柴を投入しアオリイカ、コウイカの産卵魚礁を形成し、イカの増産育成に努め漁業の生産安定を図る。 福山沖の小廻、南圃、大廻沖合い30メートルのところにイカ柴60本を投入する。 H20年度 はタコツボ産卵魚礁実施 補助割合:市 約1/2		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 17 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 福山沖の小廻、南圃、大廻沖合い30メートルのところにプラスチック製のタコつぼを7月初旬約600個投入。		ア	補助金交付団体数
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 福山沖の小廻、大廻沖合い30メートルのところにイカ柴60本を投入する。		イ	投入回数(年度内)
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 海面漁業者 (交付先)福山町漁協 (対象活動)イカ柴の投入事業		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 漁業者の経営安定		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 効率的な生産を行なう基盤が整う		ア	海面漁業者数
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		ア	イカ芝入数
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		ア	放流した稚魚の数
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業内訳	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	220	200	190	190	
	事業費計(A)	千円	220	200	190	190		
活動指標	ア	団体	1	1	1	1		
	イ	回	1	1	1	1		
	ウ							
対象指標	ア	人	128	128	128	128		
	イ							
	ウ							
成果指標	ア	個	60		600	60		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア	万尾	40.2	40.5	40.5	40.5		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 福山町沖はタコ等の産卵場所が少ないためイカの産卵魚礁を形成するためにイカ柴を投入し、イカの増産育成に努めたいとの地元漁協からの要望により開始 開始年・・・平成17年	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 水質資源の枯渇や燃油等経費増など漁業を取り巻く状況は年々厳しくなっている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし	

事務事業名	漁業資源繁殖施設整備事業	所属部	農林水産部	所属課	林務水産課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	他漁業協同組合について、部会等への補助を行っている団体なく、公平であるとはいえない。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 漁協の合併等を進行するかを見極め、補助事業のあり方から検討を行い、事業の拡大・縮小を決定する。																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
漁協の合併等がうまくいかなかった課題である。 事業拡大については、前提条件として合併が必要であるため、状況の把握と支援を行う。



No.	530-350	事務事業名	漁業資源放流支援事業(ヒラメ放流事業)				所属部	農林水産部
							所属課	林務水産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	山下 晃
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	水産G
	基本事業名	0 2	生産基盤の整備				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 6	0 3	0 1	95090	水産業総務費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
ヒラメの放流を行うことにより、資源の維持増殖に努めると共に漁獲の向上を図り、地区漁民の生産を高め生活の安定を図る。 5月～6月にかけて、栽培漁業センターよりヒラメの種苗7,000尾を陸上輸送し、地区毎に漁船に積み込み、国分敷根沖、広瀬沖、隼人町浜之市沖、小浜沖に等分に放流する。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 18 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 19年度は種苗の育ちが悪く、種苗数が足りず、事業は実施出来なかった。 21年度計画(21年度に計画している主な活動) 概要と同様		名称 ア 補助金交付団体数 イ 放流回数 ウ	単位 団体 回
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 海面漁業者 (交付先) 錦江漁協 (対象活動) 種苗の放流事業		対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 ア 海面漁業者数 イ ウ	単位 人
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 漁業者の経営安定		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 ア 霧島市漁獲高 イ ウ	単位 t
結果(どんな結果に結び付けるのか) 効率的な生産を行なう基盤が整う		上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 名称 ア 放流した稚魚の数 イ ウ	単位 万尾

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	320	0	273	273		
	事業費計(A)	千円	320	0	273	273			
活動指標		ア 団体	1	1	1	1			
		イ 回	1	1	1	1			
		ウ							
対象指標		ア 人	142	142	142	142			
		イ							
		ウ							
成果指標		ア t	426	465	465	465			
		イ							
		ウ							
上位成果指標		ア 万尾	40.2	40.5	40.5	40.5			
		イ							
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 年々資源が枯渇していく湾奥の水資源の維持や増大を図るため。平成18年度から実施	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 燃油高騰、漁業者の高齢化など水産業を取り巻く環境は年々厳しくなってきた。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 水産資源の枯渇を防ぐためにも放流事業等を今後も続けてほしい。	

事務事業名	漁業資源放流支援事業(ヒラメ放流事業)	所属部	農林水産部	所属課	林務水産課
-------	---------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価						
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 稚魚の放流を行う事によって漁業者の経営安定が図られ、結果政策体系に結びつく。		
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 種苗の放流事業により漁業者の経営安定を図ることができるため妥当である。		
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 対象は漁協、意図は漁業者の経営安定であるため妥当である。		
	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 事業目的以上の成果向上余地はない。		
有効性 評価	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 稚魚放流を中止することにより、湾内の資源の維持培養が難しくなり、また漁獲高が減少する。		
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷			目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 他に類似事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷	
	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業費の殆どは必要経費であり、削減は難しい。 (補助273,000円:事業経費種苗代等723,000円)		
効率性 評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 人件費は予算執行事務と放流の立会いのみであり、削減余地がない。		
	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? その稚魚は錦江湾の漁場に放流され、受益者は全ての漁業者であるため適正である。		

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	適切な事業であって、現状維持とする。																						
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																								

No.	530-351	事務事業名	漁業資源放流支援事業(豊かな海づくり広域連携事業)				所属部	農林水産部
							所属課	林務水産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	山下 晃
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	水産G
	基本事業名	0 2	生産基盤の整備				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 6	0 3	0 2	96010	水産業振興費		
	一般	0 6	0 3	0 1	95090	水産業総務費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
海面漁業者による放流を行う事業の経費について、一部補助を行う。 【事業主体】福山町漁協・錦江漁協 【放流種苗】ヒラメ・マダイ 平成20年度 福山町漁協 ヒラメ種苗…3,300尾、マダイ種苗…29,400尾 錦江漁協 ヒラメ種苗…3,300尾、マダイ種苗…29,400尾 平成21年度 福山町漁協 ヒラメ種苗…3,300尾、マダイ種苗…29,400尾 錦江漁協 ヒラメ種苗…3,300尾、マダイ種苗…29,400尾予定						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 8 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 事業概要と同様		ア	補助金交付団体数
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度と同様		イ	
ウ		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
海面漁業者 (交付先)福山町漁協・錦江漁協 (対象活動)種苗の放流事業		名称	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 漁業者の経営安定		ア	海面漁業者数
結果(どんな結果に結び付けるのか) 効率的な生産を行なう基盤が整う		イ	放流回数
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	霧島市漁獲高
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	放流した稚魚の数
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	225	205	194	194		
	事業費計(A)	千円	225	205	194	194			
活動指標		ア 団体	2	2	2	2			
対象指標		ア 人	272	270	270	270			
		イ 回	4	4	4	4			
成果指標		ア t	426	465	465	465			
上位成果指標		ア 万尾	40.2	40.5	40.5	40.5			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期…平成8年度 年々資源が枯渇していく湾奥の水資源の維持や増大を図るため。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 湾奥に位置する漁場の為水質の悪化、漁業者の高齢化、漁業資源の減少、燃料費等の高騰に伴い、漁業者を取り巻く環境は厳しい。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 漁業を取り巻く環境が悪化しているため、放流事業は継続してほしい。(地元漁協)	

事務事業名	漁業資源放流支援事業(豊かな海づくり 広域連携事業)	所属部	農林水産部	所属課	林務水産課
-------	-------------------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 稚魚を放流する事によって漁協の経営安定につながり効率的な生産を行なう基盤が整うので政策に結びついている。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 種苗の放流事業により漁業者の経営安定を図ることができ、霧島市に隣接する湾奥の活性化にもつながることから妥当である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 漁場や湾奥の活性化は漁協だけでなく、それを利用する一般市民も対象にしているので妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 事業目的以上の成果向上余地はない。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 稚魚放流を中止することにより、湾内の資源の維持培養が難しくなり、また漁獲高が減少する。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 他に類似事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 今後漁協が合併し、放流時に係る事務費等(船や車の借り上げ等)を共有できれば、わずかではあるが事業費の削減につながる可能性がある。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 人件費は予算執行業務と立会いのみであるので、これ以上の削減余地はない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業費を支給するのは各漁協であるが、その稚魚は公共の漁場に放流されるため、受益者は漁業者のみでなく、遊漁者等広く市民となる。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																										
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	各漁協と連携、協力し事業費は維持しながら事業費の削減を図りたい。																										
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																										
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<改革改善案> 今後関係機関と密に連携をとることによってコストを削減し、成果を上げられるように事業に取り組んでいく。																										
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
				コスト																							
		削減	維持	増加																							
成果	向上																										
	維持																										
低下	維持																										
	低下																										
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 特になし																											

No.	530-360	事務事業名	錦江漁協青壮年部活動支援事業				所属部	農林水産部
							所属課	林務水産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	山下 晃
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	水産G
	基本事業名	0 2	生産基盤の整備				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 6	0 3	0 2	96010	水産業振興費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
錦江漁協青壮年部活動費補助・・・漁協の青年部が主となりイカ産卵礁の設置、漁業の研修会、海岸等の清掃等の活動費の一部を補助する。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 4 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
錦江漁協青壮年部・先進地研修、県振興大会出席、港清掃、港祭り		ア	補助交付団体数
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	
前年度と同様		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
漁協の青壮年部		名称	
(交付先) 錦江漁協青壮年部		単位	
(対象活動) 繁殖保護事業、港の清掃等		ア	漁協青壮年部員数
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		イ	漁港などの漁業環境
青壮年部の活動を活性化させる。		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
効率的な生産を行なう基盤が整う。		名称	
		単位	
		ア	霧島市漁獲高
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア	放流した稚魚の数
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	60	54	51	51		
	事業費計(A)	千円	60	54	51	51			
活動指標		ア 団体	1	1	1	1			
対象指標		ア 人	9	9	9	9			
		イ 箇所	3	3	3	3			
成果指標		ア t	426	465	465	465			
上位成果指標		ア 万尾	40.2	40.5	40.5	40.5			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
青壮年部独自の活動を強化し年々資源が枯渇していく湾奥の水産資源の維持増殖を図るため平成4年度から実施している。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
燃油高騰、漁業者の高齢化など水産業を取り巻く環境は年々厳しくなってきた。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
近年活動が活発になり積極的に夕市など色々な事業をおこなうようになってきたので、この事業を続けてほしい。(錦江漁協、青壮年部)	

事務事業名	錦江漁協青壮年部活動支援事業	所属部	農林水産部	所属課	林務水産課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	
	受益機会・費用負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	他漁業協同組合について、部会等への補助を行っている団体なく、公平であるとはいえない。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 漁協の合併等を進行するかを見極め、補助事業のあり方から検討を行い、事業の拡大・縮小を決定する。																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
事業内容の抜本的な改善が必要。研修費補助等の事業に対する事業補助への移行を行う。



事務事業名	林業施設維持管理事業	所属部	農林水産部	所属課	林務水産課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 生産を行う基盤が整っており林産物等の加工をできる施設であって、経営体の強化を図れる施設の管理であって施策体系に結びついている。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 市所有の施設であり、市が管理することは妥当である。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 林業施設を適性かつ円滑に管理している。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 利用者及び施設運営委託者からの意見を取り入れ、現状よりもさらに利用しやすい環境をつくれれば成果を向上させる余地はある。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 施設の老朽化が進み、管理できない状況になる可能性がある。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 適性かつ円滑に管理する必要から、市の維持管理費は必要最低限の経費であり、これ以上の削減の余地はない。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 維持管理費の予算執行事務が主であり、これ以上の削減の余地はない。	
	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 施設については市民が使える環境にあり、そこに対し維持管理することについては不公平は生じない。また、施設利用者からは使用料などを徴収するので受益者負担についても公平・公正であると考える。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	現状よりもさらに利用しやすい環境をつくるために運営の仕方などを工夫し、効率性の確保とともに効果の向上を検討する。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 施設運営委託者と利用促進等について協議を行い、利用者の苦情・要望等に対応できる体制をつくる。																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
運営努力により利用改善の可能性があるかの確に判断し、活用方法を利用者と協議する必要がある。



No.	530-510	事務事業名	林道等維持管理事業				所属部	農林水産部
							所属課	林務水産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	山下 晃
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	林務グループ
	基本事業名	0 2	生産基盤の整備				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 6	0 2	0 3	92045	林道等維持補修事業		
							林道管理条例	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
市が管理している林道及び作業道等の維持補修工事、除草、保守点検など、林道機能の維持や通行の安全を図ることにより、森林整備の推進や木材搬出経費の削減を図る。 森林施業の管理などで林道を利用する際にパトロールを兼ねて林道の現状を確認の上、必要と判断された場所について補修工事などを委託等により実施。除草については、シルバー人材センターに委託。						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 23 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (            年度 ~            年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 林道等の修繕、林道敷払い事業委託、重機借り上げ、工事請負、原材料支給		ア	林道等の修繕箇所数
			単位
			箇所
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 林道等の修繕、林道敷払い事業委託、重機借り上げ、工事請負、原材料支給		イ	敷払いを行った林道延長
			m
		ウ	保守点検を行った路線数
			路線
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 既設の霧島市が管理する林道(93路線)等 林道利用者(施業者・一般利用者)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	
		ア	市が管理する林道の路線数
			単位
			路線
		イ	市が管理する林道の実延長
			m
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 通行しやすい状態となる。(枝や下草、崩土などの障害物がない状態)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	林道の利用に関する苦情件数
			単位
			件
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 効率的な生産を行うための基盤が整う。		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	林業生産基盤(林道)の整備率
			単位
			m/ha
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	17,918	15,370	15,355	15,900	
	事業費計(A)	千円	17,918	15,370	15,355	15,900		
活動指標	ア	箇所	52	49	37	60		
	イ	m	73,712	92,772	74,480	187,045		
	ウ	路線	94	94	93	93		
対象指標	ア	路線	94	94	93	93		
	イ	m	182,200	186,886	187,045	187,045		
	ウ							
成果指標	ア	件	15	18	14	10		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア	m/ha	5.4	5.5	5.7	5.8		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 林道は森林管理を図るうえで重要な社会基盤であるため、市(及び県)が昭和23年頃から整備を進めてきており、その維持管理を行う事業として本事業が開始された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 林道の舗装がされるようになり、施業に利用する人だけでなく、集落間の移動に利用する人が増えたため、生活路線へと変化してきている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 生活路線としての意味合いが出てきたため、一般利用者から安全対策等の強化が望む要望が寄せられている。	

事務事業名	林道等維持管理事業	所属部	農林水産部	所属課	林務水産課
-------	-----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 林道及び作業道等の維持補修工事、除草、保守点検などを行うことで、林道の機能維持や安全確保が図られ、それにより森林整備の推進が図られるため結びついている。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 林道の修繕管理は市の役割であるため妥当である。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 林道は木材の搬出、森林保全管理のための重要な基盤であり、対象及び意図は適切である。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 林道の機能及び安全の維持が目的であるため、向上の余地はない。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 森林整備の停滞、奥地集落の衰退につながる。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など) 市道認定など、土木課等と連携を取って、事業費の削減を図っている。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど) 通常の管理事務については職員で対応しているが、草払い等の業務については委託を行っており、削減の余地はない。	
	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 事業内容は林道の維持管理であって、受益者は市民、その他の人々である。よって、公平・公正である。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	適切な事業であって、現状維持とする。																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																									